

# 原発をなくす全国連絡会 ニュース



原発をなくす全国連絡会

〒113-8465東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター7F

E-mail: [no-nukes@min-iren.gr.jp](mailto:no-nukes@min-iren.gr.jp)

HP: <https://www.no-genpatu.jp>



原発をなくす全国連絡会

## STOP!海洋放出 日本と福島を汚すな! 8.12緊急街頭宣伝

福島第一原発事故処理水(ALPS処理水)の海洋放出をめぐり、重大な局面を迎えるなか、原発をなくす全国連絡会は、8月12日に新宿駅で緊急街頭宣伝を行いました。

日本共産党衆議院議員の高橋千鶴子さんは、「汚染水を貯めたタンクがいっぱいだから海に放出するのだと政府は言うが、**海洋放出をしてもタンクは減らない**。日々地下水は発生し、1日に90トンの汚染水が発生している。**もっと時間をかけて海洋放出によらない方法を考えるべき**。福島の有識者は、広域遮水壁など放射能汚染水を発生させない方法を提案している。」と訴えました。また、原発事故の廃炉作業が進まない状況のなかで、**原発推進に突き進む政府について、「福島第一原発事故が示すように、一度事故が起これば、長期にわたり広範囲に影響を及ぼす。原発再稼働はあり得ない」「原発を温暖化対の“決め手”ということとはできない」と批判しました。**



全労連の原さんは、「**現地の理解・納得なしに海洋放出しないという約束を反故にして8月末にも原発事故処理水を海に流そうとする岸田政権のやりかたはおかしい**」と批判。また、放射性物質を含む事故処理水を30年以上にわたり海洋放出する計画について、「**再び風評被害がおこり12年間の復興に向けた努力が台無しになってしまう**。海洋放出はしなくも間に合う。不安・疑問の声を踏みにじり**海洋放出を強行する岸田政権にストップをかけよう**」と訴えました。

全日本民医連の稲原さんは、「**“処理水”**と言いながら、その中には沢山の核種が残っていることが分かっている。**海洋放出されれば、自然界に取り返し**のつかない影響を及ぼすことは明らかだ。もし海に流されれば世界中の問題だ。だから各国から反対の声があがっている。原発の問題は福島だけの問題だけではない。私たちが考えるべき課題であり、**原発を推し進めてきた政府を止められなかった国民に責任がある。一人ひとりが原発の問題に向き合い、原発NOを突きつけることが必要**」と訴えました。



漁業者の理解なしに海洋放出するなんて言語道断！



「漁業者との約束を守り、福島県民・国民合意のないALPS処理水の海洋放出は強行しないことを求める緊急要請署名」

8月末までの取り組みです。  
ぜひご協力をお願いします。  
オンライン署名も可能です。  
→[change.org](https://change.org)へ



写真は民医連新聞提供